

古川武彦の略歴、主な著作（令和6年7月25日現在）

1. 学歴など

1940年生、滋賀県米原市、理学博士（九州大学、「山岳波について」）

1961年：気象庁研修所高等部（現気象大学校）卒業

1968年：東京理科大学理学部物理学科卒業

2. 主な職・経歴

1961年—1964年：大阪管区气象台、潮岬測候所

1964年—1982年：気象研究所台風研究部研究官、主任研究官

1981年 理学博士（九州大学）

1982年—1984年：運輸省大臣官房海洋課、調査官

1984年—1989年：気象庁観測部・予報部、補佐官

1989年—1991年：福岡管区气象台技術部長

1991年—1994年：気象庁航空気象管理課長

1994年—1997年：気象庁予報部予報課長

1997年—1999年：札幌管区气象台長

1999年—2003年：(財)気象協会参与

2013年 瑞宝小授賞

2020年～ホームページ「気象コンパス」、「気象寺子屋」主宰

この間、「米国大気科学研究センター（NCAR）」に留学、JICA 無償技術援助プログラム（ラオス、モンゴル、フィジー）に参加

現在、「かしま灘楽習塾」で気象の講座を担当。過去、「鹿嶋市報」、「茨城新聞」、「朝日新聞」などで「天気コラム」を執筆。

3. 主な著作

(1) 日本の気象観測と予測技術史：2024年、古川武彦、丸善出版

(2) 「ビジュアル 地球を観測するしくみ」：2023年、古川武彦、共著、朝倉書店

(3) 「気象学入門」（改訂版）：2023年、古川武彦、大木勇人、講談社、ブルーバックス

(4) 「天気予報入門」：2021年、古川武彦、大木勇人、講談社、ブルーバックス

(5) 「天気予報はどのようにつくられるのか」：2019年、古川武彦、ベレ出版

(6) 「気象庁物語」：2015年、古川武彦、中公新書

(7) 「気象学入門」：2011、古川武彦、大木勇人、講談社、

ブルーバックス

同書改訂版：2023

- (8) 「人と技術で語る天気予報史」：2011年、古川武彦、
東京大学出版会
- (9) 「最新気象百科」：2008年、古川武彦監訳、伊藤朋之、
椎野純一、丸善出版
- (10) アンサンブル予報：2004年、古川武彦、酒井重典、
東京堂書店

以上